

2/19 第25回2017おきなわマラソン
力いっぱい駆け抜ける



「第25回2017おきなわマラソン」が、沖縄市の県総合運動公園を発着点に開催されました。今年は15,378人が参加し、力一杯駆け抜けました。大会当日は市職員のほか、市婦人連合会、市体育協会、市社会福祉協議会の方々ボランティアとして参加しました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

2/16 社会を明るくする運動作文コンテスト
犯罪や非行の防止について理解を深める



第66回「社会を明るくする運動」作文コンテストで、県代表の我如古彩希さん(志真志小6年)が小学生の部で日本更正保護協会理事長賞を受賞しました。我如古さんは「受賞することができてうれしい。これをきっかけにいろいろなことにチャレンジしたい」と抱負を語りました。

2/2 暮らしに役立つ情報誌
「市民便利帳」共同発行協定書調印式



地域情報や行政の手続きなどを取りまとめた「市民便利帳」を発行するため、(株)サイネックスとの共同発行に関する協定を締結しました。広告主を募ることで市の経費を軽減できることや、全世帯への配布が可能になることに加え、多くの市民に地元企業をPRすることができます。平成29年7月中旬に発行予定です。

1/24 琉球インタラクティブ株式会社
宜野湾市の魅力を動画に



琉球インタラクティブ(株)(代表取締役社長:白井 隆秀)より宜野湾市プロモーションビデオの寄贈式が市役所で行われました。ビデオは、宜野湾市の魅力や資産を伝え、新たなブランド作りやファン獲得へと繋げていくことを目的として制作されました。白井社長は「市の魅力をPRすることに活用することが出来れば嬉しい」と語りました。

1/23-26 基地所属機による不時着に嚴重抗議
しました



1月20日にAH-1ヘリが伊計島に不時着したことを受け、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使および第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官へ嚴重抗議を行いました。佐喜真市長は、昨年12月に発生したオスプレイの不時着水事故から、事故や機体の不具合が相次いでおり、市民の不安や不信感は頂点に達しているとして抗議するとともに、問題の抜本的解決に向け、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還の実現について強く要請しました。

1/17 夜間飛行の禁止や、異音の原因報告
等を強く求めました



夜間訓練に伴う騒音の激化および、米軍ヘリが異音を発しながら低空飛行をしているとの訴えが多数寄せられたことを受け、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使および第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官へ抗議・要請を行いました。佐喜真市長は、家族団らんや休息を取る時間帯に、市民生活に甚大な影響を及ぼしている現状は遺憾と言わざるを得ないとし、夜間飛行等の禁止や、異音の原因報告等を強く求めました。

2/10 タウンページに防災情報
全世帯・全事業所へ配布



「タウンページ」と「防災タウンページ」の贈呈式が市役所で行われました。西日本電信電話株式会社とNTTタウンページ株式会社は、本市と協力して「市民便利帳」と「タウンページ」の合冊版を発行しており、今回で5回目の発行となります。昨年「防災タウンページ」も作成しており「タウンページ」と併せて2月に全世帯へ配布されます。

2/6 2月6日は宜野湾市ターウムの日
ターウムの魅力を伝えたい



宜野湾市ターウムの日に、伝統野菜であり特産品であるターウムの魅力をPRすることを目的に、市役所玄関前にて来庁者へ大山産田芋を使用した田芋菓子約100個を無料配布しました。その他、ぎのわんゆいマルシェで大山産田芋の特売なども行われました。

1/25 市民の声を市政へ反映
宜野湾市議会からの政策提言へ回答



佐喜真市長は「宜野湾市議会からの政策等の提言」に対して、1月25日に議会へ回答をしました。大城政利議長は「議会が動き、市民の声を市政に反映させることで市民の期待に応えてまいりたい。次年度は予算への反映も見据え10月までには提言書をまとめたい」と語り、佐喜真市長は「市民からのご意見を議会で協議し、議会の総意として提言されることについては、重く受け止め、議会と執行部で連携を行いながら、より一層市民が実感できるような政策づくりに努めていきたい」と述べました。

2/17 九州ガールズ・エイトサッカー大会
サッカー県代表・南中頭ガールズ



第27回JFA九州ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会に県代表として出場する南中頭ガールズに所属する宮城采来さん、金城怜花さん、江洲桂奈彩さん、知念夢衣さんが出場報告のため市役所を訪れました。金城さんは「九州大会ではチームに貢献できるよう全力でプレーして優勝できるよう頑張りたい」と語りました。

2/9 浦添宜野湾電気工事業協同組合より寄付
寄付金贈呈(福祉施設へ活用)



浦添宜野湾電気工事業協同組合(山城克己理事長)のチャリティーゴルフコンペ寄付金贈呈式が市役所で行われました。寄付金贈呈は平成18年度より11回目となり、保育所や健康増進課など市内の福祉施設の備品整備費用などに活用されてきました。山城理事長は「これからも地域社会への貢献の為、チャリティーコンペを継続していきたい」と語りました。